

人 聖 蓮 日  
御降誕800年  
慶讃記念大会



岡山県庭瀬組寺

令和2年2月13日(木)

於:JAやすらぎ西会館

# 宗旨

名稱めいしやう日蓮にちれん宗しゆう

宗祖しゆうそ日蓮にちれん大聖人だいしやうにん

開宗かいしゆう建長五年四月二十日けんちやうごねんしがつにじふにち（鎌倉時代）  
（西暦二五三年）

本尊ほんぞん久遠くおんの本師ほんし釋迦牟尼佛しやかむにぶつ

題目だいもく南無妙法蓮華經なむみよほうれんげきやう

教義きやうぎ日蓮宗はお釈迦さまの説かれた最高の教である法華經をよりどころとする宗団です

この法華經を身をもつて読まれ布教をせられた日蓮大聖人と宗祖と仰いでおります

本宗の教義は法華經の魂をお題目にこめられた宗祖の教に導かれて私たちが信行に励みこの教を弘めることによつてやがて世界の平和人類の幸福ひいては個人のおあわせにつながる事を確信して教へてあります

經典きやうでん妙法蓮華經みよほうれんげきやう（法華經）

## 宗徒の信条

一、私たちは、日蓮聖人によつて体験せられた法華經を、人生すべての基本といたします。

二、久遠にわたり衆生を救おうとされている釈迦無尼仏は、智慧と慈悲をすべて備えられた本師です。私たちは、このみ仏に絶対の信仰をささげます。

三、南無妙法蓮華經は衆生が成仏するための肝要な行法です。私たちは、このみ法を堅く心身にたもちます。

四、人々の仏性を開き、み仏の国土を建設することは、日蓮聖人の誓願です。私たちは、聖人を導師として、その実現に精進いたします。

五、私たちは、常に仏子としての自覚をもち、すべての衆生と共に真実を求めて生活をいたします。



## 在家の誓い

私は、日蓮宗の宗徒として、次の条々を  
実践<sup>じっせん</sup>することを、御本尊と我が心に固く誓<sup>かた</sup>います。

### 誠<sup>いまし</sup>めと本分

日蓮聖人のみ教え<sup>おし</sup>にしたがい、そのお誠<sup>いまし</sup>めを固く守り、  
宗徒としての本分<sup>ぶん</sup>を尽<sup>つく</sup>します。

### 信仰と職業

信仰の心を以て今日の仕事にはげみ、  
少しでも世のためになるよう努力いたします。

### 崇<sup>すう</sup>祖<sup>そ</sup>と信仰

常にお仏壇をきよめ、墓参<sup>ぼさん</sup>をおこたらず、  
心から御先祖<sup>ついでんくよう</sup>の追善供養につとめます。

### 朝<sup>あさ</sup>夕<sup>ゆう</sup>の信行

朝夕に信行をはげみ、今日一日を清らかに  
信仰の心をもって生活いたします。

### 明るく楽しい家庭

一家<sup>たが</sup>互いに相敬愛<sup>あいけいあい</sup>し、共に心をあわせ、  
明るく楽しい家庭<sup>きつ</sup>を築くよう心がけます。

# 日蓮聖人の御生涯

| 西 暦     | 和 暦  | 年 齢 | 出 来 事                                                                                                                                                    |
|---------|------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 2 2 2 | 貞応元  | 1   | 2月16日、千葉県安房郡小湊の地に、幼名「善日麿」として誕生。父は貫名次郎重忠、母は梅菊。                                                                                                            |
| 1 2 3 3 | 天福元  | 1 2 | 5月12日、父母の元を離れ近くの天台宗・清澄寺（現在は日蓮宗）にて道善房に師事し、寝食を忘れて学問や修行に打ち込む。虚空蔵菩薩に「日本一の智者となしたまへ」と一心に祈願する。                                                                  |
| 1 2 3 7 | 嘉禎3  | 1 6 | 道善房を師として正式に出家し、名を「是聖房蓮長」（ぜしょうぼうれんちょう）と改める。                                                                                                               |
| 1 2 3 8 | 暦仁元  | 1 7 | 鎌倉に遊学、念仏及び禅を学ぶ。                                                                                                                                          |
| 1 2 4 8 | 仁治元  | 2 1 | 清澄寺に帰り、比叡山遊学の途にのぼる。                                                                                                                                      |
| 1 2 5 3 | 建長5  | 3 2 | 4月28日清澄山・旭が森にて昇る陽に向かい初めて「南無妙法蓮華経」と唱え立教開宗を宣言する「我日本の柱とならん、我日本の眼目とならん、我日本の大船とならん、」と誓いを立て、同時に名を「日蓮」と改める。                                                     |
| 1 2 6 0 | 文応元  | 3 9 | 7月16日、「立正安国論」を著し、前執権の北条時頼に奏進。念仏批判に怒った暴徒により、松葉ヶ谷の草庵が焼き討ちにあう。【松葉ヶ谷法難】                                                                                      |
| 1 2 6 1 | 弘長元  | 4 0 | 5月12日、反感を持つ者の嘘の訴えにより捕らえられ、伊豆に流罪となる。【伊豆法難】                                                                                                                |
| 1 2 6 4 | 文永元  | 4 3 | 念仏信仰者の地頭・東条景信の軍勢に襲われ、左腕と額を負傷、門下の工藤吉隆と鏡忍房日暁が生命を落とす。【小松原法難】                                                                                                |
| 1 2 7 1 | 文永8  | 5 0 | 幕府や諸宗を批判したとして、龍ノ口刑場にて処刑されかけるものの、その後、佐渡流罪となる。【龍口法難】                                                                                                       |
| 1 2 7 3 | 文永10 | 5 2 | 4月25日、当身の大事「観心本尊抄」を述作。<br>7月8日、大曼荼羅本尊を初めて書き顕す。                                                                                                           |
| 1 2 7 4 | 文永11 | 5 3 | 4月8日、佐渡流罪より赦免され鎌倉へと帰還。<br>幕府に3度目の諫暁を行った後、5月17日、波木井実長の招きで山梨県の身延山に入り、法華経を末法万年に伝える人材育成に務める為、大勢の弟子や信者と共に、昼夜に法華経の講義や唱題修行に精進の日々を過ごす。                           |
| 1 2 8 2 | 弘安5  | 6 1 | 9月8日、常陸の湯で持病を癒そうと出た旅の途中、18日武蔵国・池上宗仲公の邸（現在の池上大坊本行寺）で養体が悪化し休息。<br>10月13日辰の刻（午前8～10時）、弟子・信者多数の唱題の中、静かに御生涯を閉じる。<br>この時、季節外れの桜の花が咲き（御会式桜）、臨終を知らせる鐘の音が悲しく響き渡る。 |
| 1 2 8 3 | 弘安6  |     | 5月、身延・御廟所に御聖骨を奉安す。                                                                                                                                       |

# ご挨拶

合掌 来る、2021年は宗祖日蓮大聖人がお生まれになり800年の記念すべき年を迎えます。この度、日蓮宗岡山県庭瀬組寺の各寺院の御協力のもと、御降誕800年慶讃法要を勤修致します。

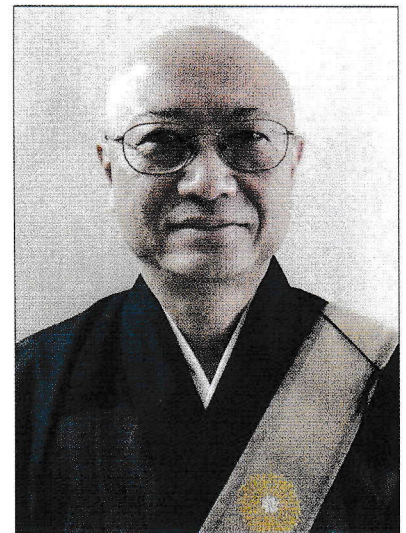
本大会に御協賛・御協力下さいました皆様を始め、本日、御参加下さいました檀信徒の皆様、地域の皆様方の御縁を頂き本大会が迎えます事、心より感謝申し上げます。私達は「日蓮聖人御降誕800年」を一つの契機といたしまして、多くの方々に「合掌」の心を弘め、安穩な社会の実現のため、一步一步と前進して参りたいと念願致しております。本大会を通じて、皆様方の御信仰の糧となります事を念願申し上げますと共に諸天善神の御加護を得、益々の御健勝を心よりお祈り申し上げます挨拶とさせて頂きます。

日蓮宗岡山県庭瀬組寺

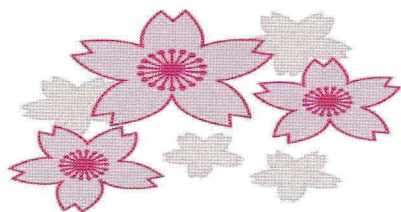
この度、岡山県庭瀬組寺各寺院に於かれましては、宗祖御降誕800年慶讃法要を記念大会として盛大に挙行されますこと、誠に慶祝に存じ上げ、日蓮宗岡山管区を代表し関係各聖各位の御尽力に心より敬意と感謝を表します。

さて、いよいよ御降誕800年の正当の年が来年に迫ってまいりました。そして県下各組寺では様々な趣向を凝らした大会が次々に行われるております。また、本年3月10日には聖地・小湊 大本山 誕生寺にて岡山管区

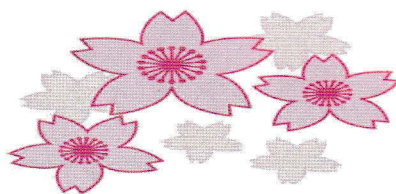
法要が行われます。皆様方におかれましては、本大会の円成を契機に、更なる御精進を重ね、今後行われます御降誕800年の慶讃事業に参加され、尚一層の御活躍なされますことを心より期待申し上げます。 南無妙法蓮華經



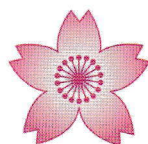
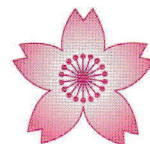
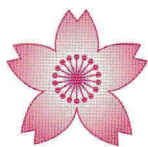
日蓮宗岡山県宗務所・所長  
太然寺住職  
大野玄秀



## 日 程



|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 10:00 | 開場 (庭瀬万灯講)                 |
| 10:20 | 開会 副委員長・挨拶                 |
| 10:30 | 講談 一龍斎貞鏡師<br>「日蓮聖人 御一代記」   |
| 11:30 | 昼食                         |
| 12:00 | 庭瀬万灯講                      |
| 12:10 | 体操 大森史江 ヨガ講師               |
| 12:30 | 法話 大西秀樹上人                  |
| 13:30 | 御降誕八〇〇年慶讃法要                |
| 14:15 | 祝辞 岡山県宗務所・所長<br>閉会 副委員長 挨拶 |
| 14:30 | 解散                         |



## 「但行礼拝」・「合掌礼」

「妙法蓮華經常不輕菩薩品第20」24文字を僧俗一体で唱えましょう!

我深敬汝等 不敢輕慢 所以者何 汝等皆行菩薩道 當得作佛

がじんきょうによとう ふかんきょうまん しょういしゃが によとうかいぎょうぼさつどう とうとくさぶつ

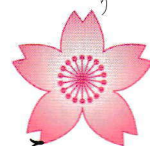
(我深く汝等を敬う 敢えて輕慢せず 所以は何ん 汝等皆菩薩の道を行じて 當に作佛することを得べし)

われふか なんだち うやま あ きょうまん ゆえ いか なんだち みなぼさつ どう ぎょう まさ さぶつ う

《菩薩道》

※ 全ての人々は「御仏の子」(仏子)であります。

※ 敬いの心を持って、先ずは「合掌」から始めましょう。



# 「日蓮聖人御一代記」

講談師：一龍齋貞鏡

いち りゅう さい てい きょう

東京都渋谷区生まれ。父が八代目：一龍齋貞山、祖父が七代目：一龍齋貞山、義理の祖父が神田伯龍であり、世襲制でない講談師界に於いて初の三代続いての講談師。

2008年、父の八代目貞山門下へ入門。  
2012年、二つ目昇進。講談協会定席の他、学校寄席、地域寄席、仏教講談、はとバス講談ツアー、司会など、講談の可能性を生かして様々な方面で活躍中。  
日蓮宗門徒。



# 「但行礼拝、合掌礼」～常不輕菩薩に学ぼう～

法話講師：大西秀樹 上人

おお にし しゅう じゅ

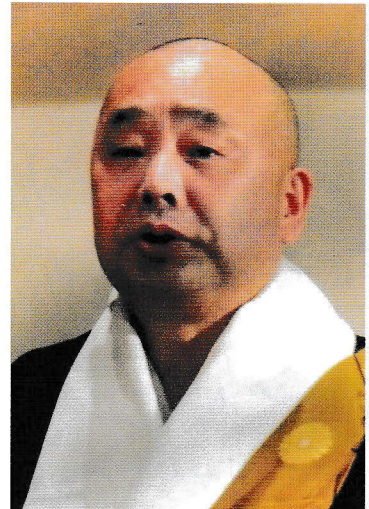
京都・松林院 御住職。昭和24年12月10日生まれ

日蓮宗・常任布教師

京都拘置所教誨師

学校法人「明德学園」理事 学校法人「ほとけの子学園」理事  
公益法人「四恩育英会」監事・・・等。

大西上人の御法話は、京都弁で話される口調は耳に残りとても丁寧で良く判り檀家さんからの信望は厚く、全国の管区へ要望で動かられておられます。岡山へも幾度となく御法話などの御話しをされに來られておられます。

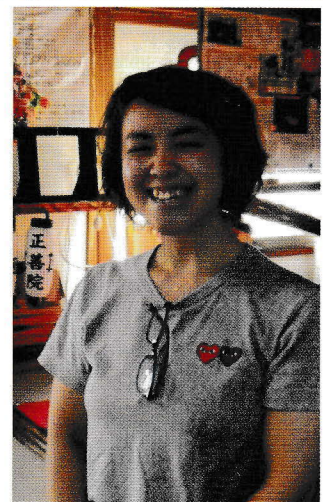


ヨガ講師：大森史江

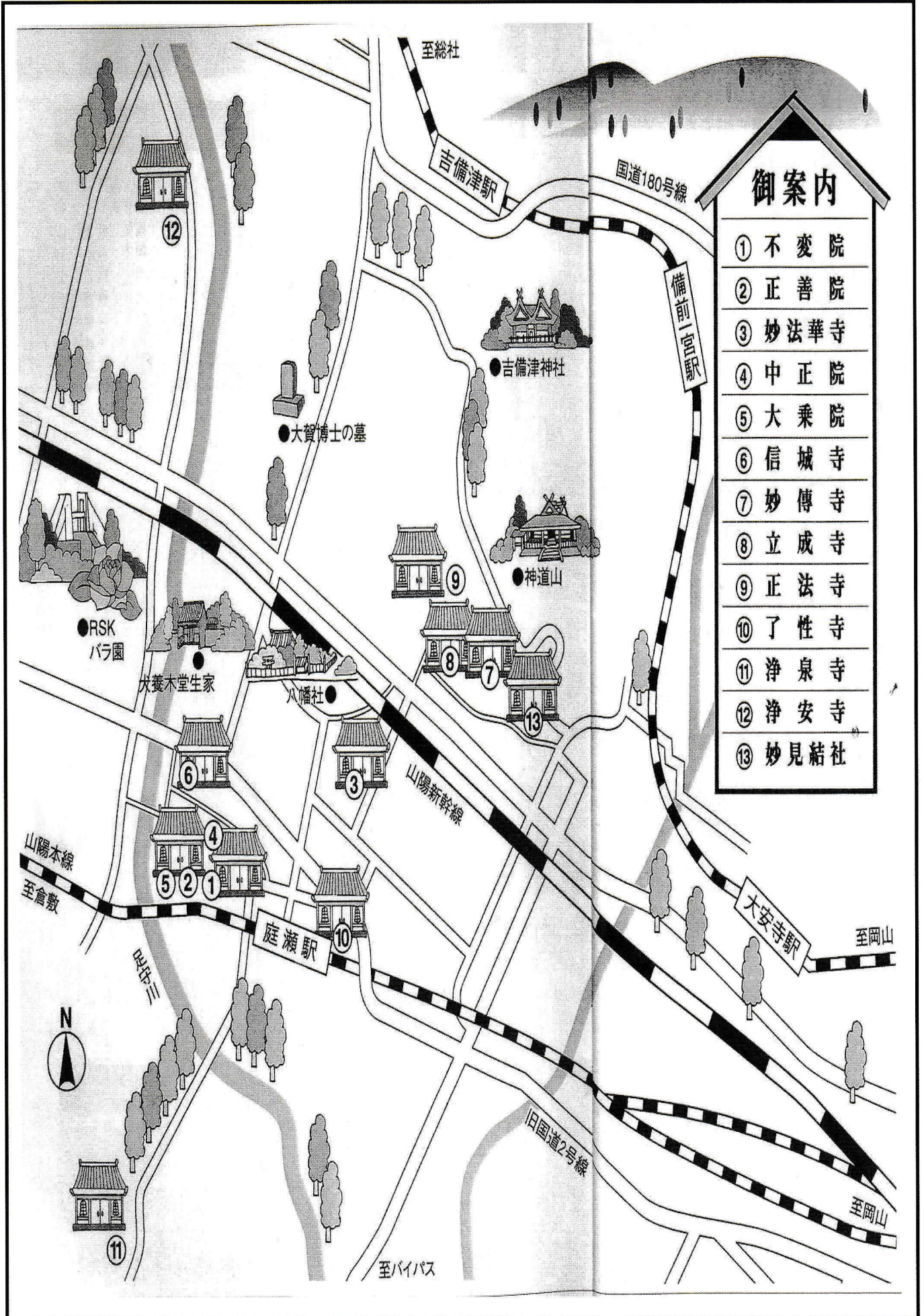
おお もり ふみ え

20代の頃、激務による過度のストレスで体調を崩している中、ヨガと出会う。2010年からヨガの指導を始める。当初はアライメントと呼ばれる身体の使い方、ポーズを取ることに重きを置いたヨガを実践・指導していたが、2014年に伝統的なハタヨーガと出会うと、その奥深さと寛容さ、理論に裏打ちされていること、実践的であることなどに驚き、また、その哲学にも魅了され、今も学びを続けている。

現在はヨガをもっと身近に感じてもらうように、お寺や公共施設、老人福祉施設、クリニックなど様々な場所でレッスンを受け持つ。また、産前産後のお母さんたちの支援や認知症などの症状のある高齢者へのクラスなど受講生の幅も広い。現代の生活に寄り添い根ざして行くように分かりやすく実践的な指導であることを大切にしている。



# 庭瀬組寺13ヶ寺マップ



# ※日蓮宗・庭瀬組寺：寺院の紹介※

|               |               |           |                      |              |
|---------------|---------------|-----------|----------------------|--------------|
| 不正妙中大信妙立正了浄浄妙 | 変善法正乗城傳成法性泉安見 | 院院寺院寺寺寺寺社 | 岡山市北区庭瀬 8 6 6        | 086-293-1822 |
|               |               |           | 岡山市北区庭瀬 8 6 6 - 2    | 086-293-3342 |
|               |               |           | 岡山市北区西花尻 1 2 7 9 - 1 | 086-293-0603 |
|               |               |           | 岡山市北区庭瀬 6 1 4        | 086-293-1083 |
|               |               |           | 岡山市北区庭瀬 8 6 6 - 4    | 086-293-2549 |
|               |               |           | 岡山市北区庭瀬 5 2 4        | 086-293-3349 |
|               |               |           | 岡山市北区東花尻 4 4 0       | 086-293-0589 |
|               |               |           | 岡山市北区東花尻 4 3 9       | 086-293-2142 |
|               |               |           | 岡山市北区西花尻 2 6 1 - 1   | [無住の為]       |
|               |               |           | 岡山市北区平野 3 7 2        | [無住の為]       |
|               |               |           | 岡山市南区山田 1 1 6 3      | 086-282-4908 |
|               |               |           | 倉敷市日畑 9 6 9          | 086-462-0565 |
|               |               |           | 岡山市北区花尻 6 8          | [無住の為]       |

## = 寺 院 紹 介 =



外 観 写 真



御 宝 前 写 真

### 覚如山 大坊 不変院

住 職 秦 宏 典

所在地 岡山市北区庭瀬 8 6 6

開 山 城国院日鳳上人  
開 基 不変院殿覚如日真大居士  
(庭瀬藩主：戸川達安公)

沿 革 天正 14 年 (1586) より

守護神 八幡大菩薩・大黒天神 等

### 高照山 正善院

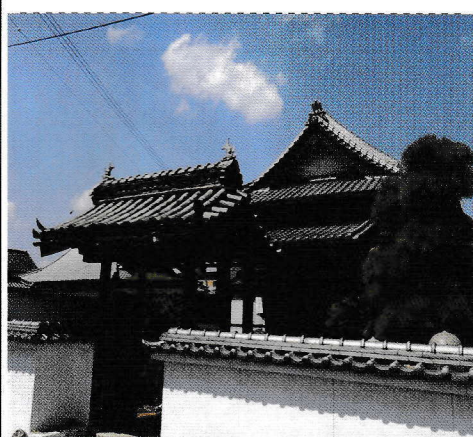
住 職 壁 村 憲 尚

所在地 岡山市北区庭瀬 8 6 6 - 2

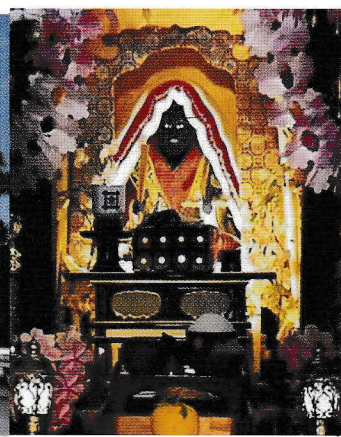
開 山 泉蔵院日英上人

沿 革 天正 14 年 (1586) より

守護神 日朝上人 (眼目守護)  
子安鬼子母神・大黒尊天 等  
寺宝：日朝上人曼荼羅

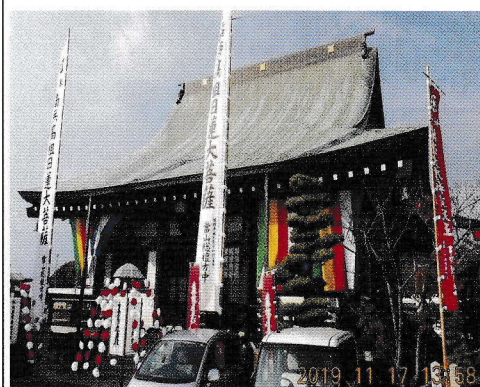


外 観 写 真

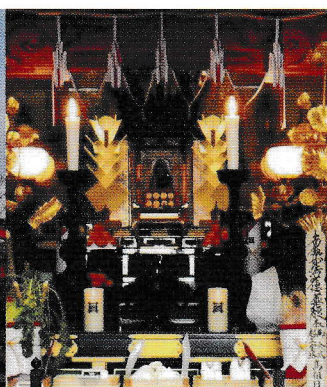


御 宝 前 写 真

# = 寺 院 紹 介 =



外 観 写 真



御 宝 前 写 真

## 覚如山 妙法華寺

住 職 大瀬戸 泰 康

所在地 岡山市北区西花尻1279-1

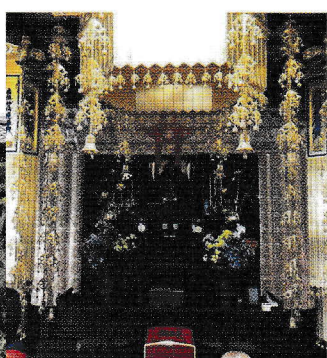
開 山 城国院日鳳聖人

沿 革 寛永六年(1629)より  
〈昭和六十一年、日蓮聖人第七百遠忌を記念して西花尻へ移転〉

守護神 大摩利支天王・最上三神  
地藏菩薩 等



外 観 写 真



御 宝 前 写 真

## 了性山 中正院

住 職 濱 田 恵 王

所在地 岡山市北区庭瀬614

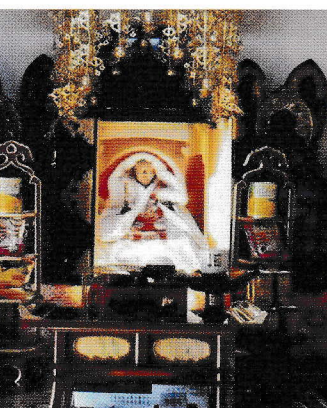
開 山 中正院日学上人

沿 革 元禄年間より

守護神 清正公太神・鬼子母尊神 等



外 観 写 真



御 宝 前 写 真

## 八幡山 大乘院

住 職 壁 村 憲 尚(代)

所在地 岡山市北区庭瀬866-4

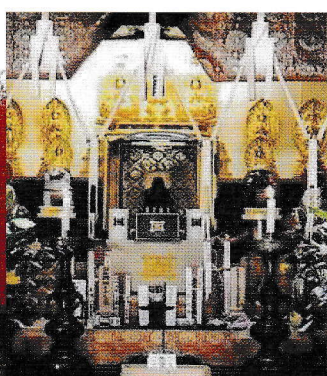
開 山 大乘院至善日住上人

沿 革 天正年間より

守護神 日親上人(火伏・火傷)  
寺宝: 日親上人曼荼羅



外 観 写 真



御 宝 前 写 真

## 法正山 信城寺

住 職 長 瀬 一 喜

所在地 岡山市北区庭瀬524

開 山 信城院殿日友尊尼

沿 革 寛永元年三月より

守護神 鬼形鬼子母尊神  
〈久遠成院日親上人・自刻〉

## = 寺院 紹介 =

### 題号山 妙傳寺

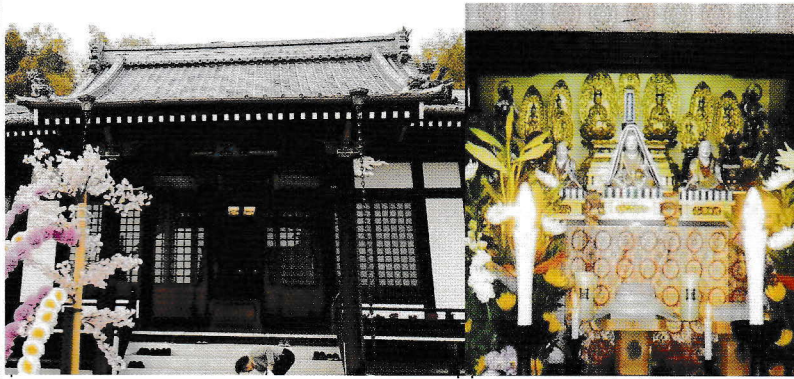
住 職 粗 智 修

所在地 岡山市北区東花尻 4 4 0

開 山 玄成院日戒大徳

沿 革 永禄年間、備前尾上より移築

守護神 文珠師利菩薩・鬼子母尊神  
慈母・水子子育観世音菩薩



外 観 写 真

御 宝 前 写 真

### 福壽山 立成寺

住 職 八 木 慈 秀

所在地 岡山市北区東花尻 4 3 9

開 山 恵性院日通大徳

沿 革 慶長年間より

守護神 鬼子母尊神・大黒天神  
子安鬼子母神・七面大明神  
〈山門は庭瀬城の御門を移築〉



外 観 写 真

御 宝 前 写 真

### 浄泉山 正法寺

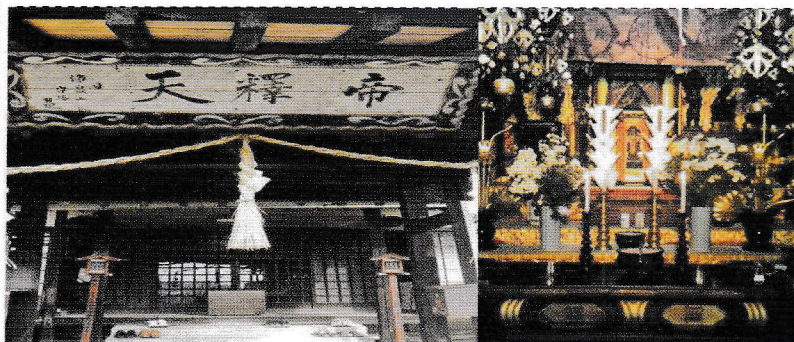
住 職 土 師 泰 範 (代)

所在地 岡山市北区西花尻 261-1

開 山 正蔵院日定上人

沿 革 元和年間より

守護神 梵天像・帝釈天像 等



外 観 写 真

御 宝 前 写 真

### 中正山 了性寺

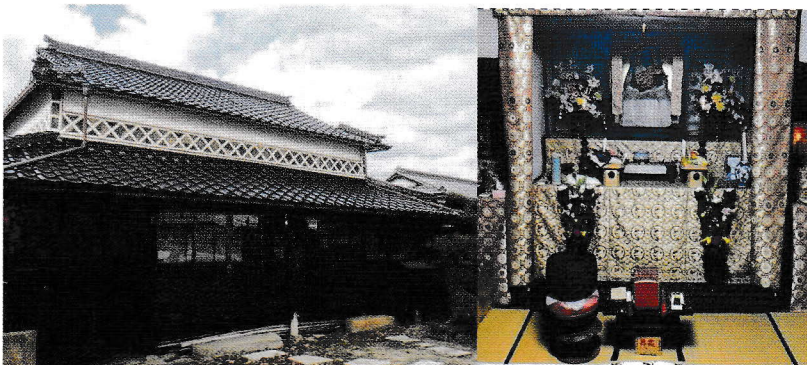
住 職 濱 田 恵 王 (代)

所在地 岡山市北区平野 3 7 2

開 山 中正院日学上人

沿 革 元禄年間より

守護神 開運 北辰妙見大菩薩  
水子観音像



外 観 写 真

御 宝 前 写 真

## = 寺 院 紹 介 =



外 観 写 真

御 宝 前 写 真

### 妙法山 浄泉寺

住 職 野 田 元 祐

所在地 岡山市南区山田 1 1 6 3

開 山 大教院日受大徳

沿 革 寛永3年(1626)

守護神 子安鬼子母神・開運北辰妙見大菩薩  
慈母観世音菩薩・大去垢天神  
最上位経王大菩薩・聖観音水神明王



外 観 写 真

御 宝 前 写 真

### 鷺林山 浄安寺

住 職 宍 戸 妙 香

所在地 倉敷市日畑 9 6 9

開 山 城用院日相大徳

沿 革 慶長年間・末期より

守護神 三十番神・鬼子母神 等  
寺宝：大覚大僧正曼荼羅



外 観 写 真 ①

外 観 写 真 ②

### 妙 見 結 社

住 職 無 住 職

所在地 岡山市北区花尻 6 8

開 山 圓明院日禅聖人

沿 革 明治16年3月25日、  
能勢・妙見山より妙見大  
菩薩を受け勧請している。

守護神 開運 北辰 妙見大菩薩

日蓮宗・庭瀬組寺の各寺院では多くの年中行事を行っております。  
各寺院の祭祀する守護神様の大祭をはじめ、宗祖日蓮聖人の  
御会式（御講）等がありますので、自分との仏縁の絆を深く  
結ぶ為にも信仰の糧として、どうぞ遠慮なく御参り下さい。

南 無 妙 法 蓮 華 経



©こぞうくん

# 三奇瑞

さん き ずい

日蓮聖人は、貞応元年（1222）の2月16日、今の千葉県にあります、安房のの小湊で、父・貫名次郎重忠さま、母・梅菊さまのもとに生まれになりました。

お生まれになった時に、三つの不思議なとこ（三奇瑞）が起こったと謂われております。

- ① 安房小湊の海辺に次々と蓮の華が咲いた
- ② 港に鯛の大群がキラキラと輝いて押し寄せた
- ③ お生まれになった産屋の庭先に清水が湧き出て来た

といわれておられます。



# ※ 庭瀬大会：来賓・委員 ※

来 賓：大野 玄秀（岡山県宗務所・所長）  
来 賓：大西 秀樹（日蓮宗・常任布教師）

|           |           |                                                    |                                                             |                                         |
|-----------|-----------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 法 法 法 法 法 | 要 要 要 要 要 | 委 員 長：<br>副 委 員 長：<br>副 委 員 長：<br>副 委 員 長：<br>祝 辞： | 八 木 慈秀<br>長 瀬 一喜<br>粂 智修<br>濱 田 恵王<br>大 野 玄秀<br>(岡山県宗務所・所長) | 導 師<br>協 導 師<br>協 導 師<br>協 導 師<br>協 導 師 |
|-----------|-----------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|

|       |       |                                |                          |                                                                       |
|-------|-------|--------------------------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 実 実 実 | 行 行 行 | 委 員 長：<br>副 委 員 長：<br>副 委 員 長： | 秦 宏典<br>野 田 元祐<br>長 瀬 幸洋 | 金 式 式<br>座 衆 衆<br>・ 印 衆 衆<br>・ 修 衆 衆<br>・ 法 衆 衆<br>・ 修 衆 衆<br>・ 法 衆 衆 |
|-------|-------|--------------------------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------|

|                        |                    |                    |                          |
|------------------------|--------------------|--------------------|--------------------------|
| 組 織 ・ 企 画<br>組 織 ・ 企 画 | 委 員 長：<br>副 委 員 長： | 壁 村 憲尚<br>大 瀬 戸 泰康 | 会 行 事 ・ 修 法<br>司 会 ・ 修 法 |
|------------------------|--------------------|--------------------|--------------------------|

|                                              |                                      |                                                                                      |
|----------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 実 行 委 員：<br>実 行 委 員：<br>実 行 委 員：<br>実 行 委 員： | 土 師 泰範<br>穴 戸 妙香<br>濱 田 恵康<br>岡 嶋 泰康 | 木 式 式 式<br>番 衆 衆 衆<br>・ 銅 衆 衆<br>・ 鉢 衆 衆<br>・ 修 衆 衆<br>・ 法 衆 衆<br>・ 修 衆 衆<br>・ 法 衆 衆 |
|----------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|

|     |          |      |                |
|-----|----------|------|----------------|
| 大 会 | 特 別 会 計： | 粂 龍樹 | 式 衆 衆<br>・ 妙 鉢 |
|-----|----------|------|----------------|

迎接担当委員：庭瀬組寺寺庭婦人

連絡係：壁村 憲尚（常任布教師・講談師・ヨガ講師）  
（宗務院・宗務所・記念タオル・パンフレット等）  
大瀬戸 泰康（御本尊・パネル等）  
穴戸 妙香（散華御守り／黒岩櫻華上人）  
濱田 恵康（パンフ／写真・当日撮影）

《 特 別 協 力 社 》

\* JA やすらぎ西会館 \* 中原三法堂 \* さくら祭典

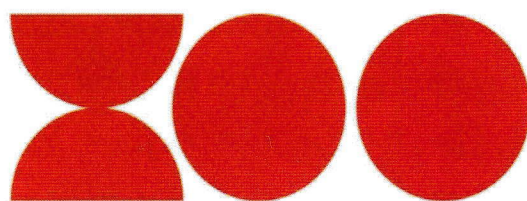
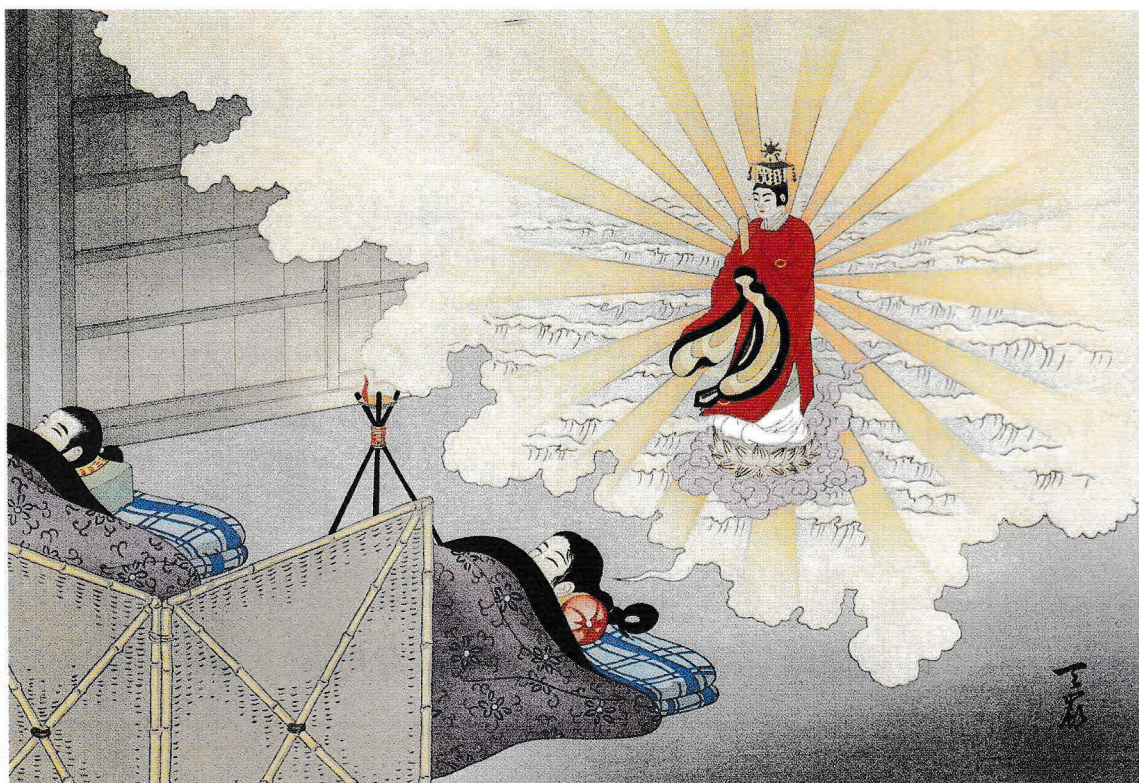


# 日蓮宗



いのちに合掌

立正安国・お題目結縁運動



日蓮聖人 降誕八〇〇年

# 宗祖日蓮大聖人 御降誕八百年慶讃法要 庭瀬大会 次第

日時 令和二年二月十三日 午前十時 ～ 午後二時半  
場所 J A やすらぎ西会館

- ――、お迎え・万灯 (庭瀬万灯講)  
――、御講談 「日蓮聖人御一代記」 一 龍 齋 貞 鏡 師  
――、ヨガ体操 大 西 森 秀 史 江 鏡 師  
――、御法話 「但行礼拝、合掌礼」 大 西 秀 樹 上 人 師

## 差 定

### 始、入 場 (唱 題)

- ――、開式の辞  
――、道場偈 (仏様をこの道場に御迎えする願いを表します。)  
――、総 拝 (この道場に集まった人々と共に、法華經に出会えた喜びを感謝し拝礼をします。)  
――、切 散 華 (仏様の御徳を讃え、華土を降りて仏様の席をしづらえます。)  
――、但行礼拝 (法華經の第二十「常不軽菩薩品」の二十四文字。合掌の有り難さを唱えます。)  
――、勸 請 (導師が仏様に、これから勤めする法要の趣旨を申し上げます。)  
――、開經偈 (有難き法華經にあり、徳を褒め称え、一心に信じたもつていく誓願をお唱えします。)  
――、読 經 方便品・自我偈  
――、饒 ・ 鉢 (散華。この道場を荘厳に導きます。)  
――、慶 讃 文 (大導師が御宝前に進み、法要の趣旨と日蓮聖人の御降誕の御法功を讃えられます。)  
――、五 番 神 咒 (妙法蓮華經の陀羅尼神咒をお唱えします。)  
――、修 法 (木剣による加持祈禱を行い、仏様の御多幸を祈念します。)  
――、祖 訓 (日蓮聖人のみ教えの導かれて信心の道を歩んでいくお誓いをします。)  
――、唱 題 (日蓮聖人が唱えられた「南無妙法蓮華經」を大きな声で心の底から唱和します。)  
――、宝 塔 偈 (どのような困難があろうとも法華經の信心をつらぬいていく決意を誓います。)  
――、祈念回向 (日蓮聖人の功德を基とし励ましながら、後世にも弘め生かす行く事を誓います。)  
――、四 誓 (この法華經の功德をもつて菩薩道に励みことを誓います。)  
――、奉 送 (この道場におこしいただいた仏様を御送りいたします。)  
――、閉式の辞

### 結、退 場 (唱 題)

次、祝 辞 岡山県宗務所 所長 大野玄秀 僧正